



# 家庭教育学級の充実をめざして

鹿児島市立伊敷小学校



音楽セラピー ～音楽で子どもの感性を育てよう～

伊敷小学校は、明治25年に創立され、今年で創立125年を迎えます。児童数が1800人を超えていた時期もありましたが、西伊敷小学校、花野小学校の開校に伴い、現在、児童数433人、PTA戸数339戸の学校です。

社会環境が変化し、価値観も多様化する現在、学校教育だけでなく、家庭教育の充実が一層求められており、本校で行っている家庭教育学級へも大きな期待が寄せられています。

本校の家庭教育学級は、1年生の保護者全員を学級生と位置付けています。1年生の学級では、年度当初の学級PTAで、学級委員長や各専門部員を決めるときに、家庭教育学級の役員も選出されています。各学級から選出された役員(2人×3学級)が集まって、学

級長、副学級長、書記等の役員を決めています。5月の開講式から始まり、2月の閉講式まで年間8回の学習を行っています。学級生は、1年生の保護者となっていますが、学習内容によっては、2～6年生の保護者にも文書を配布し、参加を呼びかけています。

開講式は、例年、校長及び伊敷公民館長の挨拶と講話を行っています。講話の中で、家庭教育の重要性や家庭教育学級の大切さを話してもらっています。その後、年間学習計画を話し合います。大まかな計画は、役員が事前に前年度の役員との引継ぎ会の際に立案しておき、それを提案します。

「家庭教育の充実」とか「子どものしつけ」等を前面に出すと参加者が少なく、趣味的なものだと参加者は増えませんが、

家庭教育学級本来の趣旨から逸れてしまうという問題があります。そこで、学級生の興味や関心を引き、かつ子育てに役立つ内容になるよう、役員は工夫を凝らし、講師と十分打ち合せを行っています。

昨年度の学習内容をいくつか紹介します。

親子ふれあい講座の「親子で取り組む作文講座」「親子クッキング(食育)」は、親子で多くの学びがありました。「なかまをつなぐ人権同和教育」では、参加体験型学習で行い、とても充実した学習ができました。

「音楽セラピー」音楽で子どもの感性を育てよう」では、音楽療法の特徴や効果について、講話と実技で学びました。音楽をとおして、子どもの心を育てる楽しさや音楽のもつ素敵な力を実感した講座でした。

「からだ元気!こころ元気」は、姿勢改善からのアプローチ」では、姿勢改善の必要性、姿勢改善と心の関係、すぐに実践できる姿勢改善法を学びました。さらに、「子どものやる気を引き出す言葉かけ」や「ペップトーク」についても、様々な具体例や演習を通して学



からだ元気!こころ元気～姿勢改善からのアプローチ

びました。平成12年に出された「教育改革国民会議報告」にもあるように、「教育」という川の流れの、最初の水源の清冽な一滴は、家庭教育なのです。子どもは保護者の責任と

楽しみであり、たいいは小学校入学までに生活の基礎的訓練を終えるのが常です。家庭においては保護者のもとで、団体行動に従えること、挨拶ができること、単純な善悪をわきまえること、他人に迷惑をかけることなど、我慢することなどを身に付けさせることが肝要です。

伊敷小学校では、この報告に書かれている思いを保護者と共有、大事にしながら、これからも家庭教育学級の充実を図っていきたく思います。

(教頭 山下 四郎)